

いちょうだより

2019年 3月13日

天童中部小学校

校長 大谷敦司

今年の冬は雪が少なく、比較的温かい日が続いているため、休み時間はたくさんの子供たちが外で元気に遊んでいます。友達と一緒に楽しそうに遊んでいる子供たちを見ていると、幸せな気持ちになります。

3月も中旬となり、来週は卒業式・修了式です。

本学校だよりも、今年度は今号を最終とさせていただきます。1年間、大変お世話になり誠にありがとうございました。

卒業を間近に控え

6年生を送る会



1日(金)、インフルエンザが猛威を振るったため、当初の予定より一週間遅れて6年生を送る会が開かれました。

6年生が入場する前、会場が少しざわついていました。すると、実行委員の5年生の大日方君が「このままざわざわしている中でやると6年生に失礼なので、静かにしてください」と話しました。その声に1年生から5年生の全員がとても良い反応をして会全体が最後まで温かく素敵な雰囲気に包まれました。

各学年から6年生への感謝の言葉や発表があり、最後に6年生が、学校をもっときれいにしてほしいという思いを込めて各学級に雑巾を贈った後、「遙か」を思いを込めて歌い締め括りました。

卒業記念品授与式



卒業式を一週間後に控えた12日(火)、卒業記念品授与式が行われました。当日は、学校後援会の小松三雄会長がご来校くださり、本校の校章がデザインされた中部小学校オリジナル革製キーホルダーが卒業生に贈られました。

卒業生を代表して受け取った6年の堀米莉香さんは「小学校で学んだことを中学校でも生かして頑張ります」とお礼の言葉を述べていました。



子供たちの育ちのために

改めて述べるまでもなく、子供たちの学力(当然ですが、点数等に表わせるものだけではなく、いわゆる“生きる力”を意味します)を高めることが学校の存在意義です。

そのためには、子供たちが持っている力を引き出し伸ばすことができるように、私たち教職員が研修を積まなければなりません。「学び続ける教師のみ、教壇に立つことが許される」という言葉もあります。

先月、27日(水)、本校を会場にして教職員約80名が集まる研究会が行われました。指導者は、上智大学教授の奈須正裕先生・澤田稔先生、北海道大学教授の守屋淳先生、山形大学教授の江間史明先生・野口徹先生、東京学芸大講師の佐野亮子先生の6名でした。

当日は、1年3組・3年2組・4年1組・4年2組、5年2組が通覧で授業を観ていただき、5年1組・5年5組は公開授業としました。



ご指導の先生方から共通してお話いただいたのは、「学級の仲間や先生との関係性がよく、落ち着いて学習に取り組んでいる」ということでした。

来年度は、天童市教育委員会委嘱の公開研究会を行います。こうしたことを契機にして、未来を創っていく子供たちの力をさらに伸ばしていきたいと思っています。

「優秀学校賞」を受賞しました

第47回J A共済 全国小・中学校交通安全ポスターコンクールにおいて、2年生の田中優里奈さんが「**文部科学大臣賞**」を受賞しました。

加えて、その他にも多数の受賞者・応募があったことから、優秀学校賞を受賞しました。

副賞として、立派な盾と簡易テント一張りをいただきました。テントは運動会の救護用途などに活用する予定です。



本校のホームページも随時更新していますので、ご覧ください。